

海外の高校との連携による取り組み【京都府立北稜高等学校】

英語コースの授業において、例年実施しているタイの留学生との交流が中止となり、それに関わる取り組みもなくなったため、その代替として、本校AETの紹介で、アメリカの高校において日本語を履修している生徒とのビデオメッセージ交換を行った。昨年まではカードの交換を行っていたが、今回はFlipgridというアプリを使用し、ペアを決めて全員がビデオを撮りそれを送りあうという形で行った。両校とも、自分の母語と、学習中の言語の二つを用いた撮影に挑戦し、リスニング力とスピーキング力の伸長に努めた。また、各生徒の趣味や、日本文化やアメリカ文化について、意見交換を重ねた。

【プログラムの内容】

◎ビデオ1撮影（70-100語、1-2分）：英語を使用

1. 自己紹介（部活動・趣味・興味のあるもの・特技・その他シェアしたいことなど）
2. アメリカの文化や学校生活について、聞きたいことをOpen Ended Question で2つ質問する。

◎相手からの返信ビデオ1：日本語を使用

アメリカの高校生の日本語を聞き、ペアについて知る。自分の質問に対する答えを聞き取る。ペアからの質問を聞き取る。

◎ビデオ2撮影（300字、1-2分）：日本語を使用

1. ペアからの質問に答え、自分について話す。
2. 相手が日本語学習初心者であることを踏まえ、口元の動きを大きめに、わかりやすくゆっくりと話す。

◎相手からの返信ビデオ2：英語を使用

アメリカの高校生が日常で使用する自然な英語の理解に努める。同世代のアメリカ文化について理解を深める。

【工夫した点】

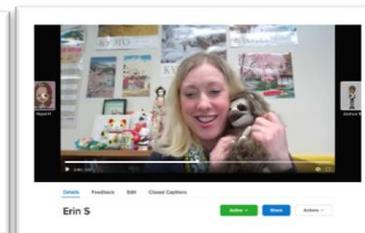
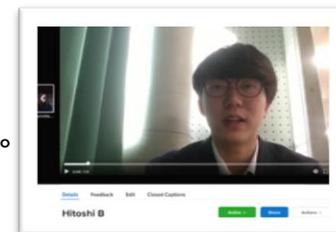
- ・1対1の形で、全員が、両方の言語の聞き取りと発話の機会を等しく持てるようにした。
- ・できるだけ雑音が入らないように距離を取り、わかりやすい録画を作るよう指導した。
- ・相手校と良好な関係が築けたため、数年後の本校での交流も期待できる。

【今後の課題】

- ・今後も続けていきたいが、AETが変更になった場合の継続の仕方
- ・授業終了後の、当該アプリ以外での生徒同士の交流の継続方法

【経緯】

| | |
|--------------------|---|
| 2016(平成28)年 | タイの留学生との学校交流が始まる |
| 2020(令和2)年8月 | 例年10月の本校訪問が、新型コロナウイルスの影響により中止となる |
| 同年9月 | 2学期の授業内容の代替案を作成、アメリカの高校生とアプリFlipgridでのオンラインビデオ交換を決定 |
| 同年10月～2021(令和3)年1月 | ビデオ1作成・送付⇒返信ビデオ1を受受・鑑賞⇒ビデオ2作成・送付⇒返信ビデオ2を受受・鑑賞 |



他機関との連携による取組み【京都府立北稜高等学校】

本校では、日露青年交流センターによる「日露青年交流事業」の一環として、「ロシア日本語履修高校生との交流」を行っている。例年30名程度の高校生を受け入れているが、今年は新型コロナウイルスの影響で交流事業自体が中止となったため、その代替として実施される「オンライン高校生交流」に参加することになった。

【プログラムの内容】

- 参加者：ロシア人高校生9名、日本人高校生11名 使用アプリ：Zoom
 日時：11月14日（土）、15日（日）16:00～18:00（日本時間）、10:00～12:00（ロシア時間）
- 1日目 1. アイスブレイキングクイズ大会（全員）
 2. グループ交流 ①「地域紹介と自己紹介」 ②「コロナ禍での過ごし方について」
 ③「学校や友達の間で流行っているものやマイブームについて」
- 2日目 1. グループ交流 ①「昨日の晩御飯について（写真付き）」
 ②「私の好きなこと・趣味について」
 2. 全体交流 ①「文化紹介」 ②「将来の夢について」



【工夫した点】

- ・全学年に参加を募ったところ、定員を上回る3名の応募があった。
- ・本校からは参加者が3名だったため、個人に課されているデータの準備（自己紹介文、写真など）の作成の際に、一人につき一人の教員が付き添いながら、アドバイスを行えるようにした。
- ・両日とも2名ずつの参加だったため、学校内の2つの教室に分かれて、他方の声が聞こえることのないようにした。



【今後の課題】

- ・生徒のICT活用能力の向上のため、自宅より参加させる形も検討する。
- ・交流を行うテーマについて、それぞれの国の教育や環境など、より議論が深まるものを日露青年交流センターに提案していきたい。

【経緯】

| | |
|--------------|--|
| 2014(平成26)年～ | 2014（平成26）年11月、2016(平成28)11月、2017(平成29)年11月に、ロシア人高校生を本校に受け入れ |
| 2015(平成27)年～ | 2015（平成27）年3月、2017(平成29)3月、2018(平成30)年4月に、本校から3名がロシアに派遣 |
| 2020(令和2)年9月 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、本校への派遣中止が決定 |
| 同年9月～11月 | 日露青年交流センターとオンライン交流についての内容等について打ち合わせ |
| 同年11月14日、15日 | オンライン交流実施 |

連絡先 075-701-2900